

令和元年度 第1回市民まちづくり集会

とき

令和元年8月7日（水）

午後6時30分～午後9時00分

ところ

日田市役所 7 階大会議室

参加者

18歳以上66歳未満の市民の中から無作為に抽出して案内通知を行った方のうち、応募のあった26名と大分大学生2名の計28名。

目的

日田市自治基本条例や第6次日田市総合計画に基づく、市民参画と協働によるまちづくりの推進を図るため、まちづくりや市政に参画するきっかけづくりと意識の醸成を目的として開催したものです。

当日の流れ

18:30～	開会 ・挨拶 ・会の目的、進め方の説明 ・自己紹介 ・アイスブレイク		コーディネーター 大分大学経済学部 社会イノベーション学科 教授 渡邊 博子先生
19:00～	ワーク1 コンセンサスゲーム「スリー・テン」 （「スリー・テン」の説明：示された10項目の選択肢の中から、設定された条件に基づいて3項目を選択していくもの。情報量が少なく、また様々な価値観がある中で、決められた時間内に話し合いに基づいて意思決定を行っていく。答えに正解はなく、結論の出し方やその理由も様々。） 〈実施内容〉 ①市が現在行っている取組の中から17項目（別紙参照）を抜粋して示し、まずその中から重要だと思う10項目を選択。 ②選択した10項目から、更に3項目を選択していくにあたって新たな条件を設定。 *設定条件：急激な人口減少が進んでいく中「財源、人手不足により全ての取組に対して市の予算や人手を充てられない状況に陥った」というもの。 ③上記②の条件に基づき、重要と選択した10項目のうち予算や人手を充てるべき7項目と、あきらめる3項目を選択。		
20:00～	ワーク2 ワーク1で選択した、財源、人手不足によって予算や人手を充てることをあきらめると選択した3項目について、「自分たちでも何かできることはないか」アイデアを出し合っていく。		
20:45～	渡邊先生の講評		
21:00	閉会 ※次回は、自分たちでもできそうなことのアイデアについて、3項目から1項目に絞り、具体的な提案をまとめていく予定。		

令和元年度 第1回市民まちづくり集会



2019.8.7(Wed)
日田市役所 7階 大会議室



難しい内容とシビアな条件に
頭を抱えながらもゲーム形式
で進行したこともあり、楽しみ
ながら話し合いが進んでいま
した。



次回は、今回のワークを基に「自分たちが楽しみながら取り組みそうな」提案に
ついて、具体的に考えていきます。



(参考) 市が現在行っている取組として示した17項目

項目	参考(市の取組の具体例)
①市民が交流し合う場づくりやまちをよくする取組	市民まちづくり集会や、まちづくりに関する講演会の開催、まちづくり活動に対する支援
②情報を発信して日田市の認知度・魅力度を上げる取組	ホームページやSNS(facebook、LINEなど)を活用し、市政情報や防災情報を市内外へ発信
③生きがい・健康づくりを促進し、健康寿命を延ばすための取組	運動・食育・健診など健康増進の取組、地域での支えあいの支援、介護予防の推進、障がい者の社会参加の促進
④子育て中の親への相談・支援体制の充実	保育士確保の取組、子育てに関するサービスの利用支援専門員の配置、子育てに対する悩みや相談できる場の提供
⑤過疎・高齢化が著しく進む地域への対策	集落支援員や地域おこし協力隊の配置、若者の結婚支援、移住や定住の促進、自治会活性化活動への支援など
⑥日田市で働きやすく、就職しやすい環境の整備	合同企業説明会の開催、起業される方への支援、後継者育成の支援、ワークライフバランス講習会の開催など
⑦農林業における担い手の育成や販売力向上に向けた取組	農林業の担い手育成、農林業体験の促進、有害鳥獣対策、
⑧自家用車がなくても移動できる手段の確保・維持	ひたはしり号、乗合タクシー、福祉バスの運行など
⑨地域の活動や交流の拠点となる公園や広場づくり	日田駅前広場整備、コミュニティ広場の整備、公園施設の点検など
⑩公共施設や道路を長く使えるような維持管理	施設や道路の点検と補修、図書館、パトリア日田、アオーゼ、地区公民館の運営など
⑪日田に訪れる人を増やす取組	マーケティング調査、観光祭等イベント、トイレの整備、観光情報の発信など
⑫日田の産業を応援し、経済を循環させる取組	地場産業(木工業、陶芸品など)や商店街への支援、空き店舗活用への支援、大丸でのショップ運営、企業誘致
⑬スポーツする人を増やすための取組	ひな祭りマラソンなどの開催、誰でも気軽に取り組める「軽スポーツ」の推進、自転車・ボートを市民スポーツとして定着
⑭日田の歴史を守り、文化財の保存や宣伝をする取組	ガランドや古墳の保全整備、咸宜園の世界遺産登録に向けた取組など
⑮地域の防災力を向上させる取組	防災訓練実施の支援、ハザードマップ作製、防災意識の啓発など
⑯日田の自然や生活環境を守る取組	ポイ捨てや不法投棄の巡回監視、河川の水質調査、美化活動の支援、ごみ減量と再利用の意識啓発など
⑰地域と一体となった教育環境や生涯学習の充実	地域住民、保護者が一体となった学校運営、部活動指導員の配置、生涯学習の機会の提供など